

まず初めに、私がこの本を選んだきっかけについてお話したいと思います。

普段あまり読書をしないのですが、今回の参加を通して自分自身に役立つ本を読みたいと思い書店へ行きました。書店の平積みコーナーでタイトルを目にしたとき、私自身、趣味など自分に興味のあることはすぐ行動に移せるのですが、自分に興味のないことなどはやらなくてはいけないと分かっているのですが、後回しにしてしまう事もある為、今回の図書に選び、今後仕事やプライベートに役立てていこうと思いました。

今回この本を読んでみて私が思ったことは、『すぐやる人』と『すぐやらない人』は最初の10秒で決まる、その10秒ですぐ行動に移せる人は気分を自分で変えることができる、気分を自分でコントロールするには日常生活の中で前向きになれる行動や発言をしていくことが大切だと思いました。また、『出来るか』『出来ないか』ではなく『やるか』『やらないか』という話しを数多くの場面で耳にしますがこの本でも、すぐやるかとはかく『普段からすぐやる』と思うことが大切だと思いました。普段、仕事をしているうえで、仕事を任せて頂いたり、お願いしたりする中で、お願いされた仕事を『すぐやる』。こうした行動をとる事で数多くのメリットがあると思います。

お互い忙しい時などにすぐ手伝ったり、手伝ってもらったりできる。そうしたことにより、業務が円滑に進むと共に社内雰囲気も良くなると思えました。また、この本にも書いている『チャンスに出会わない人間はいない』という一文から、仕事を任せて頂いている、仕事をお願いされる事は常に『チャンスを頂いている』と思えるようになりたい。頂いたチャンスを成功させることも大事ですが、頂いたチャンスにまず取り組む、そうした事から取組むことが大事だと私は思います。知っている事、出来る事をすぐ行動に移すのは勿論ですが、知らないことや難しい内容の時こそ最大のチャンスでありどのような様に行動するかが肝心だと思いました。

今までの自分を振り返り返りなぜすぐ行動できなかったか考えていると、仕事が忙しくて時間が無い、他にやらなければいけないことがあるなど色々理由をつけて行動を後回しにしていました。それはすなわち、自らチャンスを逃しすぐ行動出来ない自分にしてしまっていたのだと気づくことが出来ました。仕事によっては期日が決まっており優先すべき業務もあると思います。その時こそ、お願いされた時に『まだ先だから』『大変だから後回し』と考えず10秒で行動に移し終わらせてしまう、そうして上手に自分の工程管理を行いながら仕事をしていけば、自分の仕事のみならず他の方の仕事を手伝う余裕も出来、発注者の方や社内の方々に信頼して頂けるように成長できると感じました。『人生を変える人は、『自分の目標』を持っている』この一文を見た時、私には目標が無く、ただ毎日が過ぎていく日々でしたが、今回の読書をきっかけに、いろいろな自治体の業務がありますが、『表彰』ということの一つ目標に行動していき、目標を常に持ち、何気なく行っていた業務への取り組み方を変えていきたいと思っています。

最後まで読んでいただきありがとうございました。